

# 熊野速玉大社国宝御神像複製彩色ワークショップ

## 開催要項

- 【イベント名】 くまの ぼやたまたいしやくくほう べんぞう 熊野速玉大社国宝御神像 複製彩色ワークショップ
- 【主催】 和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会
- 【会場】 熊野速玉大社 新宮市新宮1番地
- 【日時】 令和6年10月27日（日）①13:00～14:30 ②14:45～16:15
- 【対象者】 新宮市内の小学校5・6年生、中学校1～3年生  
各部5～10人程度（希望者多数の場合抽選）
- 【応募方法】 申込みフォーム 広報物にQRコードを記載
- 【募集期間】 10月18日（金）12:00まで
- 【講師等】 ワークショップ講師・彩色監修：平野薫禮（神道芸術家）  
解説：島田和（和歌山県立博物館学芸員）  
サポートスタッフ：和歌山大学ミュージアム・ボランティア
- 【その他】 参加無料
- 【担当者】 会場までの交通手段は各自手配、駐車場有、保護者等の見学可  
和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会 事務局  
島田和（和歌山県立博物館学芸員）  
〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14  
TEL 073-436-8670 FAX 073-436-6643

### ——令和6年度和歌山県立博物館施設活性化事業——

本事業では、「みんなのでつくる、ふれる、つながる文化財の複製」事業と題し、文化庁令和6年度 Innovate MUSEUM 事業（博物館機能強化推進事業）の補助を受け、人口減少・過疎化・高齢化に直面する地域における、歴史・文化と文化財の継承に資するべく、文化財の未来を担う世代が中心となって取り組む先端技術の活用やワークショップをおこない、文化財との接点と知識共有の機会を創出すること、またその活動を広域的・汎用的なものとするため、文化財複製活用のあり方を模索する。

文化財複製製作における造形、着色、公開の3つのステップを生徒・学生が担い、文化財の複製を通じて、多様な地域コミュニティとの接点を設けることとする。造形では、和歌山県立和歌山工業高等学校と連携し、3D複製製作の技術を用い、先端技術とものづくりの視野に文化や文化財との関わりを提示する。また、出力した複製の着色は、和歌山大学ミュージアム・ボランティアや文化財所蔵者と協働し、対象となる文化財が伝来する現地の小・中学校の生徒を対象とするワークショップを開催し、仕上げていく。完成した複製は、所蔵者による現地での展示等、公開・活用（接触不可）を検討する。